

## ■ 研究推進委員会 活動計画書

提出日：2018年11月30日  
 理事会承認日：2018年12月8日

名 称	風景計画 研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：伊藤 弘（筑波大学）
幹 事	氏名（所属）：町田 怜子（東京農業大学） r3machid@nodai.ac.jp
その他 構成員	氏名（所属）： 松島肇（北海道大学） 寺田徹（東京大学） 上田裕文（北海道大学） 古谷勝則（千葉大学） 温井亨（東北公益文科大学） 松井孝子（プレック研究所） 入江彰昭（東京農業大学） 山本清龍（東京大学） 小島周作（東京農業大学） 上原三知（信州大学） 小林昭裕（専修大学） 水内佑輔（東京大学） 高山範理（森林総研） 村上修一（滋賀県立大学） 田中伸彦（東海大学） 武田重昭（大阪府立大学） 高瀬唯（茨城大学） 渡邊貴史（長崎大学）
目 的	<p>前期委員会では、さまざまに変化する社会背景に対応して、従来とは異なる風景・景観が立ち現れていることを踏まえ、地域づくりに結び付く風景計画のあり方を検討してきた。その成果を年度末に「実践風景計画学」として出版予定である。</p> <p>今期、本委員会では、日々の暮らしや生活を風景から読み解き、地域らしさや地域の本質的価値を紡ぎなおす。具体的には、地域の伝統的な文化や知恵に最新の技術を融合させ、持続可能な土地利用の構築、地域づくりの実現に貢献する風景計画の体系化と研究発信を図ることを目的とする。</p> <p>また、通常支部単位で実施してきた研究・事例報告会を、全国大会ミニフォーラムにおいて「風景計画：生活と風景」というテーマに沿って実施することで、若手を中心とする会員間の幅広い交流を図る。</p>
活動計画 及び 想定される 成果 (1年目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造園学会全国大会において、上記テーマ（生活と風景）に関する風景計画の事例・研究報告会（ミニフォーラム枠の活用）実施</li> <li>事例・研究は各支部からの推薦と公募</li> <li>・持続的に地域らしさを発現させる風景計画の体系化に向けて、全国大会で委員会開催</li> <li>新たに発生する視点・作業工程の確認・事例研究報告会からのネタだし</li> <li>風景計画の体系化に向けた項目整理と項目ごとおよび全体の進め方</li> <li>・「実践風景計画学」を用いた教材づくり</li> <li>・SNS を利用した作業</li> <li>理論と事例収集</li> <li>・「風景計画研究」発刊</li> </ul>
(2年目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造園学会全国大会において、風景計画の事例・研究報告会（ミニフォーラム枠の活用）実施</li> <li>事例・研究は各支部からの推薦と公募</li> <li>本研究委員会の成果報告</li> <li>・「実践風景計画学」を用いた教材づくり</li> <li>・「風景計画研究」発刊</li> <li>2期4年分の活動報告</li> </ul>